

第2回 森のようちえんについて（6月 川での遊び・水生動物の探索）

内容：「身近な川で遊ぼう！ 川の水生生物発見・カラフル水車作りをしよう！」

事前準備：会場の調査 カラフル水車のキット作り 講師の依頼（観察捕獲用の用具準備も）

1 活動場所 荒川千松橋下流域

2 日 程 2022年6月18日（土）曇り

8:30(12:50) 受付 START 聖愛幼稚園玄関ホール

8:40(13:00) 集合・受付終了 トイレ、持ち物確認 出発

9:00(13:20) 荒川の土手着 降車して予定を説明

9:20(13:40) 川の中での水遊び・簡単な親子工作「水車作

10:50(15:10) り」出来上がり作品で遊ぶ

山梨淡水生物研究会員で「フィッシュア

11:00(15:20) ト中込」オーナー 中込秀幸さんに水生生物

11:20(15:40) の探索をする。お話を聞く

帰りのバスに乗る 幼稚園に戻り解散



今回は「川で遊び、川の流れを利用したクラフト、水生生物に詳しい専門家による指導を体験をする」ようちえんです。ねらいは①川での遊び……身近な地元の河川でも遊べる体験。周囲の風景から季節の移り変わりをを感じる。水生生物が川の中にいること、小さな虫等に気づくこと。②親子のクラフトを通して互いに協力しながら水車を作る③笹舟や水車により「水の流れ」感じることです。



クラフト「カラフル水車作り」 ホワイトベニヤ板の側板とグリーンの底板、大根の中心軸部分とプラスチックの羽根材、料理用の竹串を使っての水車作り。親子で釘打ちをしたり羽根を大根に刺したりと、互いの技術を使いながらも、子どもが「金槌」を使う場面で、親の補助や子ども達の製作意欲が高まることを期している。道具を使って動く物を作る楽しさを味わって欲しい。（材料は園スタッフの手作り）

笹舟流し 健康の杜から前日夕方に採ってきたササを親子に渡し、笹舟を作って川で流し合いをした。昔は誰でも作れた笹舟だが、今は作れない大人も多くなっている。何も遊ぶ物が無い子ども達でも自然物で遊べることを知らせると共に、ササの葉の「水をはじきやすいこと、縦に裂きやすい性質」などを知ってもらいたい。



水生生物の探索 山梨淡水生物研究会員でフィッシュアート中込の主宰者である中込秀幸氏に講師をお願いし、川の生物の捕り方や観察の仕方を教えてもらう。また、捕獲した生物の説明を聞く。中込氏に寄れば、川で遊ぶことそのものが楽しいことだと体験していただきたいということです。



参加について 午前午後で60名の親子参加（除く教員学生）で、お天気は予報が外れ、曇天でやや肌寒くも感じられた。魚は近年の河川改修もあり、やや取れ高は少なかった。しかし、中込氏の適切な解説や、箱メガネによる水底観察など参加者を楽しませてくれるものがいくつもあって楽しく過ごせた。ほとんどが身近なはずの荒川に降り立ったこともない人達だった。これからも気楽に自然利用になればと思います。

